

## ツキノワグマ注意Q & A

### 問1 県内でクマがよく出没する地域はどこですか。

- 宮城県は、県内の森林に面する広い範囲で「ツキノワグマ」が確認されています。
- 目撃情報から、主な出没地域としては、東北自動車道の西側の地域が大半を占めていますが、気仙沼市・登米市などの北上山地や、仙台市泉区・富谷市・利府町の新興住宅街においても目撃情報が増えています。
- 県自然保護課ホームページでは、最新のクマ出没情報を掲載していますので、お住まいの地域で出没していないか、確認しましょう。

### 問2 県内のクマの生息数はどれくらいですか。

- 令和2年度の調査によると、推定生息数3,147頭となっています。
- 前回の調査は平成26年度(1,667頭)に行っていますが、それから2倍近く増えています。
- なお、大幅に増加した理由としては、生息個体数増加のほか、調査精度の向上によるものが大きいと考えられます。

### 問3 ツキノワグマの大きさはどれくらいですか。

- 成獣では体重は50kgから130kg、体高は幼稚園児・小学一年生の児童の身長と同じくらいで50cmから80cm、後ろ足で立ち上がると100cmから160cmほどになります。
- クマは見かけよりも足が速く俊敏です。時速40キロで走ることができるといわれており、平地はもちろん山の中でも、クマに追いかけられたら人の脚力では簡単に逃げられないため、クマと出会わないようにすることが一番の安全策です。

※ ちなみに時速40キロは100mを9秒で走るのと同じ速度です。自転車の速度が20キロ、100m18秒ですので、自転車の2倍の速さといえます。

### 問4 クマに遭遇しやすい時期はいつでしょうか。

- クマは、春から秋にかけて、食べ物を探して広範囲を動き回っています。そのため、クマの食べ物がある場所に行けば、必然的に出会う確率が高くなります。
- 県内では、例年、7月から9月までの夏季に目撃情報が多く寄せられています。夏季は餌が不足しがちで、特に行動範囲が広がるためと思われます。
- 秋季は、基本的にクマの目撃情報が減る傾向がありますが、ミズナラの実(=ドングリ)やブナの不作の年は、人里周辺を徘徊することがあります。

**問5** クマが好む食べ物を教えてください。

- 春は、冬眠からの目覚めで空腹のため、特に行動が活発になります。広葉樹の新芽や落ちているミズナラの実（＝ドングリ）、タケノコやササ、ネマガリダケの芽、山菜なども食べるといわれています。
- 初夏にかけては草花などを食べます。中には、高山植物を求めて山に登るクマもいます。昆虫類もよく食べますが、甘いものが特に好きで、ハチミツやスギの木の樹液を舐めたりします。クマに樹皮を剥がされた木はやがて枯れてしまいます。また、民家周辺のヤマグワの実なども好物です。
- 秋になると、再びミズナラやブナの実（＝ドングリ）を大量に食べますが、カキやクリの実、クルミなどを求めて人里へ下りてくることがあります。
- クマは甘い匂いに誘われやすいため、飲みかけのペットボトルやカップ・缶などはその場で放置せず持ち帰るか、決められた場所で洗って廃棄しましょう。登山やキャンプ、バーベキューなど野外活動でのポイ捨て・投げ捨ては厳禁です。

**問6** クマが人里に出没するのはどうしてですか。

- 人がほどよく手を入れて緩衝地帯となっていた、いわゆる「里山」が少なくなり、人里とクマの生息域が近接したり、重複したりするようになりました。その結果、人里への出没も容易になったと考えられます。
- クマが人里に出没する理由としては、生息数が増加していることに加え、木の実などの堅果類といった食べ物の不足、高齢化等で里山が手入れされなくなってきたこと、都市近郊の山林に住宅地が拡大していること、などが挙げられます。
- 耕作放棄地や宅地周辺に草が生い茂っているままの藪の状態だと、クマは身を隠せるため、人里により出没しやすくなります。草を刈り払うことで、クマの出没を抑える効果が期待できます。

**問7** クマを人里に出没させないようにするにはどうしたらいいですか。

- 問6にもありますが、里山が藪に覆われることで身を隠せる場所が多くなり、人里に出没しやすくなっていることも原因の一つです。餌となる家庭ゴミや未収穫の農作物は放置せず早めに処分し、周囲の藪は広く刈り払うことで、クマが出没する可能性を減らすことができます。
- 夏季は、空き家や軒下、神社などにミツバチが巣を作るため、ハチミツを求めてクマが出没し、建物を破壊する事例もあります。ミツバチの巣を見つけたら早めに撤去しましょう。
- 秋季は、自宅敷地内や周辺所有地内にカキやクリを植えている場合は、早めの収穫や剪定、伐採などの管理も必要となります。

問8 アウトドアブームですが、キャンプ場にクマが出没することはありますか。

- キャンプ場やキャンプに適した場所は、クマの生息域に重なっていることも多く、キャンプに伴う調理や飲食の匂いに誘われたクマが近くまで来る可能性が考えられます。食べ残した料理や飲みかけの空き容器は放置せず、持ち帰って処分しましょう。
- 人間の食べ残したもので味を覚え、人がいる＝おいしい餌を持っているとクマに覚えさせないことが重要です。そのようなクマは人に馴れ、やがて、餌を求めて人を襲うようになれば、お互いに不幸な結果に繋がります。

問9 クマに遭遇したらどうしたらいいでしょうか。

- クマは基本的に用心深いため、人の気配を感じると避けようとしますが、出会い頭などの急な遭遇ではクマ自身も驚き、襲ってくる場合があります。万が一クマに遭遇した場合は、次の3つを思い出して行動してみてください。
- 一つ目は「そっと立ち去る」
  - ・遠くにいるクマであれば、こちらの様子をうかがい近づかない場合が多いので、慌てず、静かに立ち去りましょう。
  - ・クマの聴覚と嗅覚は人間よりもはるかに優れていますので、多くのクマは、先に私たち人間の存在に気付いて、遠ざかるか、隠れてやり過ごしてくれます。
- 二つ目は「騒がない」
  - ・大声で叫んだり、石や物を投げたりすることは、クマを驚かせ、興奮させてしまい危険です。急なクマとの遭遇は人も驚いてしまいますが、声を抑えて騒がないようにしましょう。
- 三つ目は「ゆっくり後ろに下がる」
  - ・走って逃げるものに対し、追いかける習性があるため、背中をみせて走り去るのは危険です。クマの足は速く、人の脚力では簡単には逃げられません。
  - ・視線はそらさず、背中を向けずに、両手を広げて体を大きくみせながら、ゆっくり後退することが大切です。じっと動かないでいると、クマから「自衛や縄張り意識により」却って襲われる可能性が高まります。

問10 クマが攻撃してきたらどうすればよいでしょうか。

- クマが襲ってきたら、抵抗せずに防御態勢を取りましょう。
- 具体的には、地面に腹ばいになって、両手で首の後ろを抱えこむようにガードします。リュックやカバンを背負っていた場合は、そのまま背中を守るプロテクター代わりとなります。
- クマの攻撃は最初の一撃で終わり、その後、人間から逃げていきます。